



本リリースは、日産自動車株式会社と Workday, Inc.の共同リリースです。
両社より重複して配信される場合がございますが、ご了承ください。

2016年5月18日

日産自動車株式会社
Workday, Inc.

日産自動車、グローバル人事システムに「Workday HCM」を導入 ～日本に本拠を構えるグローバル企業が Workday HCM を初めて本稼働～

[日産自動車株式会社](#)（本社：神奈川県横浜市西区、社長：カルロス ゴーン、以下、日産）と [Workday, Inc.](#)（NYSE: WDAY、以下米国ワークデイ）は、18日、日産が刷新を進めるグローバル人事システムに、クラウド型人事ソリューション「[Workday ヒューマン キャピタル マネジメント](#)（以下、Workday HCM）」を導入したと発表しました。本件は、日系グローバル企業が Workday を導入する初めての事案であり、これにより日産は、国内における既存 Workday ユーザー数百社に新たに加わることになります。

日産は、グローバル事業の拡大に伴い、人事面においてもプロセスの共通化を推進するため、全世界で Workday HCM の導入を順次進めています。昨年10月には、日本での本稼働を開始しました。これまで各国で異なっていた人事システムを Workday HCM に一元化することで、グローバルレベルでの従業員情報の可視化、自社の優秀人材をデータベース化した人財プールの構築、および競争力の源泉のひとつでもあるダイバーシティのさらなる強化を進めていきます。

日産でグローバル人事を統括する専務執行役員のアラン バジャージュは、「Workday HCM を導入することで、より戦略的な人事への転換に向けた大きな一歩を踏み出すことができます。まずは Workday でベストプラクティスとされるビジネスプロセスをもとに、全世界で人事業務の共通化を図りながら、Workday 上に一元化されるリアルタイムの従業員情報をもとにグローバルでの人財の育成やアサインメントを実現し、ビジネスの進展に大きく貢献していきます」と、意欲を語りました。

また、同社でグローバル IS/IT 担当の常務執行役員である行徳セルソは、今回導入したプロジェクトについて、「Workday HCM は、大規模な導入だったにも関わらず、スケジュール通りに本稼働させることができました」と振り返り、「Workday HCM の導入により、クラウドを利用した最新のテクノロジーと柔軟性を享受できるようになりました。将来的には、グローバルでの人財マネジメントを実現していきます」と述べています。

米国ワークデイ 共同社長のフィル・ウィルミントンは「日産のグローバル人事に貢献することで、同社のグローバルでの事業拡大を支援できることを大変嬉しく思います。また、今回初めて、日本企業が Workday HCM を稼働したことにより、Workday HCM が日本特有の人事異動制度等にも対応することができると証明できました。ワークデイは今後も、日本に拠点をもつお客様のニーズを汲み取りながら、グローバルシステムの導入を支援し続けてまいります」と述べています。

###

<Workday, Inc.(米国ワークデイ)について>

米国ワークデイはクラウド型財務・人事用エンタープライズ アプリケーションプロバイダです。2005年に設立された米国ワークデイは、世界最大規模の企業、教育機関、官公庁などの組織で使用されることを念頭に設計されたヒューマンキャピタルマネジメント(HCM)、ファイナンシャルマネジメント、および分析用アプリケーションを提供しており、中規模企業からフォーチュン 50 社にランクインする大企業にまで数百におよぶ組織が導入しています。

米国ワークデイ(英語): <http://www.workday.com/>

ワークデイ(日本語): <http://www.workday.com/jp/>

© 2016. Workday, Inc. All rights reserved. Workday と Workday のロゴは、Workday, Inc. の登録商標です。
その他記載されている社名、商品・サービス名は、各社の商標または登録商標です。

お問い合わせ先:

日産自動車株式会社 グローバルコミュニケーション本部

Tel:045-523-5521 (企業)/5553(商品)/5520(IR)

<https://newsroom.nissan-global.com/> (プレス情報)

[www.nissan-global.com/JP/IR/\(IR 情報\)](http://www.nissan-global.com/JP/IR/(IR%20情報))

読者からのお問い合わせ・ご相談は「お客さま相談室」

0120-315-232 (携帯・PHS対応)

9:00-17:00(年末年始を除く)

お問い合わせ・ご相談内容につきましては、お客さま
対応や品質向上のために記録し活用させていただきます。

ワークデイ株式会社

<報道関係者のお問い合わせ先>

Jennifer Alejandro

Workday

TEL: +65-6809-5098

Email: Jennifer.Alejandro@Workday.com

<一般のお問い合わせ先>

TEL: 03- 03-4572-1200

Email: contact.japan@workday.com

WEB: workday.com/jp/

ワークデイ広報事務局

MSLGROUP in Japan 内

担当: 大谷、大森

TEL: 03-5719-8917

Email: WorkdayJP@msljapan.com